

**国際シンポ International Symposium on University Globalization 2014  
- How to Foster Skilled Students and Young Staff -**

**開催日：6月28日(土) 09:30~17:35(講演) (17:40~19:10 懇親会)**

**開催場所：東北大学 東京オフィス (<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/bun/bun.html>)**

**主催：2014年度通研共同プロジェクト研究会, 東北大学高度教養教育・学生支援機構, Worcester Polytechnic Institute, and Center for TeleInfrastruktur (CTIF)-Japan, Aalborg University**

**使用言語：英語(日本語の質問を歓迎します)**

〈概要〉大学が卒業時にスキルを持った大学生を輩出できるように、世界では産業界から研究テーマを提供してもらい、学生が少人数のチームを構成し、これに学生自らが主体的に取り組む、PBL (Project/problem Based Learning)を取り入れる大学が増えています。これらのチームを、産業界の人と大学の先生がペアとなり、定期的(毎週等)にレビューし、ガイドするのがPBLの特徴です。基調講演は、元東京工業大学学長、現文科省への上級顧問等をしておられる木村 孟先生に「日本には明治初期にPBLを実践した大学があった」という内容を中心にPBLの重要性についてお話いただく予定です。また講演者としては世界の草分けとして40年以上PBLを実践しているWPI (Worcester Polytechnic Institute)及び、大学創設以来PBLを実践しているAalborg University)にその取り組みと成果をお話いただくと同時に、シンガポール (Nanyang Technological University)、韓国(Yonsei University)における先進的取り組み、さらに日本(金沢工業大学、九州大学、筑波大学、及び大阪大学)における最近の取り組みを紹介します。最後に、スキルを大学卒業時に学生が獲得する実用的な教育で世界をリードするドイツにおける大学教育のあり方を紹介してもらいます。パネルセッションでは、大学教育の目的の一つである”いかにスキルのある卒業生を輩出するか”をテーマに、PBLがベストか、他の代替案は?アジアの国々ではさらに何が必要か等々について議論します。

09:30 – 12:15

**開会の挨拶：教授 加藤 修三** (東北大学 電気通信研究所)

**基調講演：教授 木村 孟** (元東京工業大学学長、現文科省上級顧問)

**講演1：Prof. Kaveh Pahlavan** (Worcester Polytechnic Institute, USA)

**講演2：Prof. Albena Mihovska** (CTIF, Aalborg University, Denmark)

**講演3：Prof. Yeo Kiat Seng** (Nanyang Technological University, Singapore)

**講演4：Prof. Masakatsu Matsuishi** (金沢工業大学)

13:15 – 15:45

**講演5：Prof. Jong-Moon Chung** (Yonsei University, Korea)

**講演6：Prof. Akira Fukuda** (九州大学大学院 情報科学研究科)

**講演7：Prof. Jiro Tanaka** (筑波大学 コンピュータサイエンス学科)

**講演8：Prof. Katsuro Inoue** (大阪大学大学院 情報科学研究科)

**講演9：Prof. Lorenz Granrath** (早稲田大学客員講師)

16:15 – 17:35

**パネル討論：総合司会 教授 加藤 修三** (東北大学 電気通信研究所)

**パネリスト：講演者全員**

参加費：1,000円(懇親会費は一般3,000円、学生1,000円を別途頂戴致します)

参加申込・問い合わせ先：東北大学電気通信研究所 加藤研究室(相澤なお実)

**TEL:022-217-5477, FAX:022-217-5476** Email: [kato@riec.tohoku.ac.jp](mailto:kato@riec.tohoku.ac.jp)

(席に限りがありますので、登録はお早めに)